

## 令和6年度「次世代を担う若手技術者交流会」の実施について

主催：下記三者の共催

○国土交通省 国土技術政策総合研究所（国総研）

○国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所（港空研）

○一般社団法人 港湾空港技術振興会

### ■概要

・国土技術政策総合研究所（横須賀）、港湾空港技術研究所と港湾空港技術振興会は、両研究所と振興会会員の次世代を担う若手技術者（ともに40歳以下）の技術力向上等を目指し、現場見学会と意見交換会を下記により実施した（令和4年度、5年度に引き続き、第3回目）。

### ■実施期日

・令和6年9月18日（水） 午後

### ■参加者

|                                          |     |
|------------------------------------------|-----|
| ・港湾空港技術振興会会員企業（建設会社・メーカー・コンサルタント等）の若手技術者 | 26名 |
| ・国土技術政策総合研究所及び港湾空港技術研究所の若手研究者            | 13名 |

### ■結果概要〈次ページの写真参照〉

- ・13:45～                   ：開会  
                                港湾空港技術振興会 横田会長による挨拶
- ・14:00～                   ：実験施設見学会  
                                港湾空港技術研究所による案内で、研究所構内にある「水中作業環境再現水槽」及び「遠心模型実験装置」を見学
- ・14:45～17:00       ：意見交換会（共通テーマ：新技術の開発と現場への適用）  
                                港空研 小野研究統括監の司会進行により、下記のプレゼンの後、各個に対し質疑応答

#### 〈研究所からのプレゼン〉

- ・国総研 大倉 翔太：港湾工事における二酸化炭素排出量算定ガイドラインについて  
                        上原 隆宏：港湾技術基準の位置付けと近年の主な改訂内容
- ・港空研 濱野 有貴：岸壁上での流入・流出を考慮した越波浸水の算定手法に関する検討  
                        杉山 友里：電気浸透を用いた浚渫土砂の減容化に関する研究  
                        菅原 法城：インフラ分野で今後蓄積が期待されるデータの活用に向けたベイズモデルの導入～階層ベイズモデルによる地震時 fragility 曲線の構築事例～

〈振興会会員からのプレゼン〉

§ 設計部門

パシフィックコンサルタンツ株式会社 酒巻 健太

：自動係留装置に関する技術的検討

北日本港湾コンサルタント株式会社 野村 明弘

：爆弾低気圧の将来変化と高潮における影響について

§ 施工部門

若築建設株式会社 福島 宏明

：ケーソン据付工事における ICT 活用事例 ～鹿児島港（中央地区）岸壁築造  
工事～

JFE エンジニアリング株式会社 土肥 かおり

：既存施設の改良工法

東亜建設工業株式会社 大森 慎哉

：AI による粒度判定システム“ASYST”

東洋建設株式会社 谷田部 拓

：海岸保全等へのダム堆砂有効利用の事例紹介

りんかい日産建設株式会社 坂本 易隆

：テーパー形状のシューを用いた標準貫入試験

・ 17:40～18:40 ：自由討議

国総研管理調整部 宮島部長による挨拶ののち、自由討議

※実験施設見学会、意見交換会において活発な質疑応答がなされ、自由討議においても積極的に情報の交換が行われる等、親密な交流が行われた。

|                            |
|----------------------------|
| 問い合わせ先：振興会 柳嶋 046-843-6558 |
|----------------------------|

【写真】



港湾空港技術振興会・横田会長



港空研・小野研究統括監  
(当時)



国総研・宮島管理調整部長  
(当時)

○ 実験施設見学会（水中作業環境再現水槽）



○ 実験施設見学会（遠心模型実験装置）



○ 意見交換会

